

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎科目	2単位 教養科目	家庭教育論	高山有紀	2年次	春

授業のキーワード	しつけ 乳幼児期 母性と父性
授業の概要・目的	日本社会における家庭教育の望ましい姿について考えます。自身の被教育体験を客観的に見つめなおし、保育士・幼稚園教諭、将来親となる時に向けての展望を持つことが目標です。
履修のアドバイス・前提科目等	歴史、比較文化など幅広い視点から家庭教育（主として乳幼児期の子どもに対する）を学び、それらの知識にもとづく履修者自身の考えを深めていきます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	はじめに	授業の進め方について説明します。また「家庭教育」に関する共通認識を持ちます。	第9講	父親の役割①	家庭教育における父親の役割について考えます。
第2講	現代の子どもと家庭	データにもとづき、現代の子どもにとっての家庭がどのような存在なのか、を学びます。	第10講	父親の役割②	父親の役割②
第3講	日本の家庭教育史①	日本における育児観、子ども観の変遷について学びます。	第11講	育児の国際比較①	アメリカ、フランス、イギリス、中国など諸国の家庭教育について学びます。
第4講	日本の家庭教育史②	日本における育児観、子ども観の変遷について学びます。	第12講	育児の国際比較②	アメリカ、フランス、イギリス、中国など諸国の家庭教育について学びます。
第5講	日本の家庭教育史③	日本における育児観、子ども観の変遷について学びます。	第13講	社会と家庭教育	第7～12講を振り返り、家庭教育と深くかかわる社会の在り方について考えます。
第6講	日本の家庭教育史④	第5講までの学習内容をまとめ、意見交換を行います。	第14講	まとめ	本講における学習を総括します。
第7講	母親の役割①	家庭教育における母親の役割について考えます。	第15講	試験	
第8講	母親の役割②	家庭教育における母親の役割について考えます。	評価方法		授業への取り組み50%、試験（レポート）50%
備考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			広田照幸『日本人のしつけは衰退したか―「教育する家族」のゆくえ―』（講談社現代新書） 門脇厚司『親と子の社会力―被社会化時代の子育てと教育―』（朝日新聞社） 恒吉遼子ほか編『育児の国際比較―子どもと社会と親たち―』（NHKブックス）		